（№　S-2022-005）

CI-NET LiteS実装規約改善要求書（CHANGE REQUEST）（案）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発信者記入欄 | 事務局記入欄 | | | | | |
| 発信日　　2022年　11月02日 | 受信日　　　　年　　　月　　　日 | | | | | |
| 会社名　情報化評議会 | 反映対象バージョン：指針･参考資料 | | | | | |
| 企業識別コード | Ver. | 2 | . | 2 | ad. | 0 |
| 部署名　事務局 | 事務局処理記入欄 | | | | | |
| 担当者名　帆足弘治 |
| 連絡先 TEL:　03-5473-4573 |
| 件名　インボイス制度に対応した帳票レイアウトの新規記載 | | | | | | |

◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）

【要求内容】

2023年10月のインボイス制度開始に伴うCI-NET LiteS実装規約Ver.2.2 ad.0の策定に併せ、CI-NETから出力される帳票のサンプルを「CI-NET LiteS実装規約Ver.2.2 ad.0指針・参考資料Ver.2.2 ad.0」に掲載することが求められた。

* 工事請負契約外取引における請求書内訳明細の帳票例（レンタル・リースの場合）について、レンタル・リースに特有の項目である「管理番号」「入出庫区分」は､現行帳票左端にあるが､2022年度LiteS規約WG第4回2022/09/22にて､同帳票内の右側のレンタル・リース等業務に適した群列に移動する案が提示された｡そのため、基本的には右側に移動した案を一般的なサンプルとして掲載する。
* 一方で、2020年8月実施実証実験に参加した安藤ハザマにて可否を検討した結果､帳票左端にあることは実証実験実証おいてそうであり､リース・レンタル会社も帳票左端で運用しているため､帳票左端のままとする要望があった｡帳票レイアウトは､指針･参考資料に記載されているように｢本帳票印刷例は完全に実装規約を反映したものではなく、一部帳票として表現しておく方が分かりやすい、想像しやすい表現や項目も含まれており、あくまで実装における参考情報として提示するものである｣ことおよび実証の成果と判断し､工事請負契約外の「明細（リース・レンタルの場合）」と「明細（リース・レンタルの場合）（残数表示の場合）」のみ、帳票左端のままの案も併せて掲載とした｡

変更前

----------開始----------

新設する事項のため、「CI-NET LiteS実装規約Ver.2.1 ad.7指針・参考資料」には記載がない｡

----------終了----------

変更後

----------開始----------

別添資料「S-2022-005インボイス対応帳票レイアウト」のうち､｢合意精算｣シリーズのシートを除くシートを、CI-NET LiteS実装規約Ver.2.2 ad.0指針・参考資料に追記する。

追記箇所は、下記2つの章の間とする。

* 「D.Ⅺ.請負契約の電子化に伴う施工台帳体制に係る対応について」
* 「D.Ⅻ.標準メッセージ一覧表」

----------終了----------

【要求の理由】

インボイス制度開始に伴い、適格請求書として必要な記載事項とCI-NETメッセージのタグNo.との関係を、帳票のサンプルを用いて提示することが求められた。なお、指針・参考資料に追記する帳票レイアウトは、飽くまでも各社がサンプルとして参照するものであり、帳票様式の標準化を意図するものではない。

【既存ユーザ等への影響】

ベンダ社の開発作業工程に関わるため、早期の確定・ベンダ社への周知が必要である。

（№　S-2022-005）

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る

改訂チェックリスト

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る改訂に関して、下記に示す項目についてチェック（○、×）を行い、問題がある場合にはその内容および改善の方向等について「指摘事項等」の欄に記載するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 審議･検討日 | 2022年11月02日 |
| 審議機関 | （委員会／WG名等を記載）  標準委員会／LiteS規約WG |

|  |  |
| --- | --- |
| 改訂内容 | （提案者、対象メッセージ、新規項目名称・摘要等を記載）  インボイス制度に対応した帳票レイアウトの追記 |

| チェック項目 | | ﾁｪｯｸ | 指摘事項等 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1.既存ユーザへの影響度合い | ①実稼動しているシステムの改修度合 |  |  |
| ②業務の見直し、変更への影響度合 |  |  |
| ③いずれのユーザの負担が大きいか |  |  |
| ④及ぼす影響の具体的な範囲や内容が見えているか否か |  |  |
| ⑤即時の対応が可能か否か |  |  |
| ⑥立場の違いなく対応が可能か否か |  |  |
| 2.各社固有の業務要件か | ①他ユーザの賛同の有無 | ／ |  |
| ②業務の変更による対応可否の検討有無 | ／ |  |
| 3.印刷要件か | ①各社の帳票出力に依存する項目が否か |  |  |
| 4.二重要件か | ①他項目での類似機能がないか |  |  |
| 5.定義の明確化 | ①類似項目との違いは明確か |  |  |
| ②規約全体を通して定義を明確にしているか | ／ |  |
| 6.改訂の緊急度 | ①即時対応の必要性の有無 |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 審議結果 | (単に承認／非承認だけでなく、そのような結果となった理由等も記載)  ＜xxxx＞ |
| 今後の対応 | (上部審議機関への申し送り事項／差戻しの場合の再審議ポイントの提示など) |

|  |
| --- |
| 【チェック欄の凡例】  ○：問題なし  △：やや問題あり／指摘事項に対する配慮があるとよい  ／：対象外／該当しない  ×：問題あり／指摘事項への対応が必要 |